

第23回 篠山再生計画推進委員会 会議録（要旨）

（記録：行政経営課）

- 日 時：平成30年11月20日（火） 10：00～11：05
- 場 所：篠山市役所本庁舎3階 301会議室
- 出席者：篠山再生計画推進委員会委員（出席7名・欠席2名）
 政策部長
 庁内関係職員（教育委員会7名）
 事務局職員（行政経営課3名） 計18名

■傍聴者：記者2名

■会議次第

- 1 開 会
- 2 審議事項：篠山再生計画実行中の投資的事業にかかる意見について
 【学校園施設空調設備整備事業】
 - (1) 審議の進め方について
 - (2) 事業の必要性、緊急性及び優先性が極めて高いこと
 - (3) 事業を実施しても、計画策定時の収支見通しより悪化するおそれがないこと
 - (4) 質疑応答・意見取りまとめ
- 3 その他
- 4 閉 会

■ 会議要旨

1 開 会	
関係職員J	（開会の宣言、欠席委員について報告、事前配付資料の確認） まずは委員長よりあいさつをいただく。
委員長	（委員長あいさつ）
関係職員J	次第2の審議事項からは委員長に会の進行をお願いする。
2 審議事項（篠山再生計画実行中の投資的事業にかかる意見について【学校園施設空調設備整備事業】）	
委員長	次第2審議事項の「篠山再生計画実行中の投資的事業：学校園施設空調設備整備事業」の審議に入る。 （1）審議の進め方について事務局から説明願う。
関係職員L	（資料1に従って、審議の進め方について説明）
委員長	（2）事業の必要性、緊急性及び優先性が極めて高いことについて教育委員会より、（3）事業を実施しても、計画策定時の収支見通しよりも悪化するおそれがないことについて行政経営課より、それぞれ説明願う。
関係職員M	（あいさつ及び事業の概要の説明）
関係職員O	（事業の必要性、緊急性及び優先性が極めて高いことについて、資料2・3に基づき説明）
関係職員K	（事業を実施しても計画策定時の収支見通しよりも悪化するおそれがないことについて、資料2・4に基づき説明）

委員長	説明が終わったので、質疑応答・意見取りまとめに入る。 何か質問・意見はあるか？
委員D	補助対象事業費を算出方法を再度教えてほしい。
関係職員K	学校園ごとの空調を設置する教室面積に、国で決まっている単価をかけて算出した金額と、学校園ごとの条件を考慮し、実際に空調設備を設置する場合に必要な実工事費の2つを比較して少ない方の金額が国の補助対象事業費となる。
委員D	実際の工事費というのは、業者の見積りなどによって決まるのか？
関係職員Q	工事費の積算については、現在設計業者に設計を委託しているところであり、概算である。 小中学校については、1室あたりの工事費が200万円、それにキュービクル（高圧受電設備）が未設置の学校についてはプラス1,000万円、キュービクルがある学校においても空調の数が増えることから、増設費用としてプラス500万円の経費を見込んでいる。 例えば、7ページにある篠山小学校の場合、普通教室未設置8室×200万円に、キュービクルがないので設置経費として1,000万円を加えて、工事費は計2,600万円となる。
委員長	空調設備は教室ごとに個別管理となるのか、それとも職員室等で集中管理ができるものなのか？ 仮に耐用年数が10年とすると、維持管理ではなく、設備自体の入れ替えが必要と思われる。その辺りも考慮しているのか？ この2点をお聞きしたい。
関係職員Q	今回設置する普通教室及び後年度に設置する特別教室については、集中管理できる方向で考えている。 10年後の更新費用については、毎年の点検・維持管理により少しでも長持ちさせるよう努めていく。現状の設備は、更新時期を迎えているものもあるが、概ね15～20年で更新している。
委員長	設備はある程度の年数が経てば更新しなければならないので、民間では減価償却の考え方がある。そういった考え方も必要ではないかということ意見をしてお伝えしておく。
委員E	国の補助金というのは、見積額と実績額のどちらで決まるのか？ 工事費の説明があったが、5ページの小学校の普通教室の表を見ると、108室で3億2千万円なので、1室あたり約300万円となる。キュービクルのありなしで変わってくると思うが、そんなにかかるものなのか？ 補助金申請のために若干高めで見積もっているのか、それとも実態を見て積算しているのか？ 先ほどおっしゃった200万円の内訳も教えてほしい。
関係職員Q	200万円については、市で建築関係の設計を行っている管財契約課管繕係と相談し、これまでの実績等から不足が生じないことを含め積算した金額である。配管とか具体的な内訳の積み上げ等はなく、部屋の広さ、高さなどから1室200万円あればほぼ対応できるだろうということで、若干高めの設定にはなっている。
委員長	形態としては、天井埋め込み式か、それとも据え置きタイプのものになるのか？

関係職員Q	<p>基本的には、教室の間取り等との兼ね合いもあるが、埋め込み型でなく、天井吊り下げ型を考えている。</p> <p>そのスペースが確保できないような場合は、据え置き型を考えている。</p>
委員C	<p>愛知県でも熱中症による死亡事故があったが、篠山において熱中症になったような事例はあるか？</p>
関係職員N	<p>熱中症を未然に防止するために、水筒持参等により小まめな水分補給をするよう注意・配慮しているので、大きな事故等は発生していない。</p>
関係職員M	<p>例えば丹南中学校では、屋上に近い3階部分が高温になるので、特に暑い日は下の階に下ろすなどして、少しでも気温が低い場所で授業が受けられるようにしている。屋外で遊んでいるときは、ミストシャワーが浴びられるようにする等、学校と連携して工夫して熱中症予防に努めている。</p>
委員長	<p>ここで、本日ご欠席のG委員よりご意見をいただいているので、原文のまま読み上げ、紹介させていただく。</p> <p>収支見直しへの影響についてということで、</p> <p>「取得時には一般財源によらないため、収支見直しの影響はないものの、取得後については、有利な起債とは言えず公債費の一般財源負担分に加えて、国庫補助金の対象とはならない維持管理に係る物件費など、一般財源負担が増すことは事実である。</p> <p>一方で、本案件の重要性に鑑みれば、この支出は認められるものと思料する。そこで、重要となるのは、限られた財源（一般財源）の使途の見直しである。すなわち、本案件のように重要度の高い事業が検討される時には、現段階での施策・事業の重点化を常に見直しつつ、財源充当の順位を検討することが求められる。」</p> <p>という内容である。参考にさせていただきたい。</p>
委員A	<p>近年の異常気象を考えると、クーラー設置の緊急性はもっともである。</p> <p>工事の施工時期が夏休みとのことであるが、次の夏は、子どもたちはまだクーラーの恩恵を受けられないということか？</p>
関係職員M	<p>そういうことではなく、今設計を業者をお願いしており、設計ができた学校から順次、設置を進めていく。</p> <p>設置も長期休暇中ではなく、電気工事を除けば1教室あたり2～3日あれば設置はできるので、学校側の柔軟な運用により通常期の中でできるだけ早く設置していきたい。</p> <p>しかし、全国的に同じ状況であることから、メーカーも増産すると思われるが、機器不足や施工業者の確保が困難になることで工事が遅れることも想定される状況である。</p> <p>すべての学校で夏休みまでに設置できるかという点、数的に難しいかもわからないが、順次できるだけ早急に設置していくという方針である。</p>
委員A	<p>先ほど集中管理の説明があったが、非常に良いことだと思う。</p> <p>プールの場合、うっかり水を出しっぱなしにして多額のムダが生じることがある。エアコンでも、消し忘れ等で多くの経費がかかることのないよう、しっかり管理していただきたい。</p>
関係職員M	<p>教育委員会としては、各学校長にしっかり伝えるし、設置が済んだ段階で、運用基準を作りたいと考えている。</p> <p>管理責任者や設定温度、設定時間などを明確にして、各学校に示して、運用基準に従って管理していきたい。</p>
委員長	<p>順番が前後するが、先ほどのG委員の意見を受けて、事務局から何かあるか？</p>

関係職員K	G委員のご意見のとおりであり、限られた財源で、行政ニーズに対応するために、事業の選択と集中を行う必要があると思っている。 今回の空調のように、突発的かつ重要性の高いものも今後考えられるので、現在は庁内協議等によって行っているが、仕組みづくりを考える必要があると考えている。
委員B	(空調設置は)大筋賛成である。財政的な問題もあると思うが、子どもたちの健康を第一に考えて早急に実施していただきたい。子どもたちが脱水症状等にならないような教室で勉強していただきたい。
委員F	空調設置の緊急性や重要性は理解できるので、実施することについて特に申し上げることはない。 今後のスケジュールのところで、施工時期が夏休みが目標となっていたので、もっと早くできないかと思ったが、先ほどの説明で、できるところから早く実施するとのことなので、少し安心した。 運用についても、子どもたちは触ったらいけないところも触ってしまう可能性もあるので、集中管理するのであれば安心だと思う。 冬場は、ストーブに替わってエアコンで暖房することと思うが、灯油代が安くできるのと、ストーブを使わなくなるのは安全につながる。 また、先生方のストーブの管理の手間も少なくなるので、安全にいい環境で勉強できるので良くなると思う。
関係職員O	今回、冷暖房機能の付いた空調設備を設置させていただくが、それを設置したからといって、冬場はストーブとかファンヒーターを一切使わないということころまではまだ決めていない。 エアコンだけであれば、どうしても暖まるまで時間がかかるということもあるので、ストーブを補助的に併用するようなことも考えている。 他市に問い合わせたところ、そのような事例もあるので、灯油代の高騰などの状況も踏まえながら考えていきたい。現在は、ストーブをすべて廃止するという方針は立てていない。
委員F	イメージ的に、ストーブだとその場所だけは暖かいが、エアコンだと部屋が全体的に暖まるので、その方がいいと思った。
関係職員Q	部屋の温度を上げることについては、これまでどおりストーブを使い、上げた温度を維持することについては空調を使うという形の事例が他の自治体でもある。導入してみないと分からないが、併用した方がいいのか、空調のみとするのか、今後判断することになる。現時点では、併用で進める予定である。
関係職員M	エアコンは初期の立ち上がりに電力がかかる。最初は熱効率の良いストーブで温度を上げて、その後はエアコンに切り替えるという形で、コストパフォーマンスをいかに少なくするかも含め、運用していきたい。
委員長	9ページのイメージ図で、「補助事業外」というのは何が該当するのか？
関係職員Q	実工事費と補助対象額の少ない方が国庫補助として採択されることから、その差額は補助対象外経費となる。
委員E	体育館で熱中症等になるケースもあると思うが、体育館等の空調整備の予定はあるのか？
関係職員Q	現時点では、まず普通教室、その後に特別教室に設置していく予定であり、広範囲・広面積となる体育館について、現時点では考えていない。一方で避難所としての役割もあることから、今後国の補助メニュー等を注視しながら検討し

<p>委員A</p> <p>関係職員Q</p> <p>委員長</p>	<p>ていきたい。</p> <p>工事の入札はどのようにされるのか？ 委員長はいつも、地元業者への配慮について言われているので。 金額が大きければ入札、小さければ随意契約になると思うが、その辺りについてお聞きしたい。</p> <p>現在設計中であるが、設計が完了した学校から順次、競争入札に付していく予定である。 1校あたり10室前後の数量で発注していくことで、結果、地元業者を含めて競争入札ができると考えている。 一括ではなく、学校単位で個別に実施する。</p> <p>ほかに意見はないか？ 概ね意見は出していただいたと思うので、取りまとめに入る。 ・必要性・緊急性・優先性については、極めて高いという意見で皆様一致。 ・収支については、当初は国庫補助の対象になるが、メンテナンスや設備の入れ替え等の費用にも注意していただきたい。 ・空調設備についても、ライフサイクルコストの考えを持って管理していただきたい。つまり、設置して、壊れて、また入れ替えてといった一連の経費も考慮していただきたい。 これらを中心に意見書としてまとめたい。 委員長・副委員長に一任いただいて、事務局を通して、委員の皆様にもメール・郵送で送って修正いただき、最終的にご確認いただいたものを市長に提出したいと思うが、それでよいか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>承認いただいたものとして、それで進めさせていただく。 これで、学校園施設空調設備整備事業の審議については終了させていただく。</p>
<p>3 その他</p>	
<p>委員長</p> <p>関係職員L</p>	<p>その他として、事務局から何かあるか？</p> <p>先月10月17日にお世話になった委員会の意見・提案書をメール・郵送させていただくので、修正等があれば日が短いが今週中(11/22の木曜まで)に連絡をお願いしたい。 その意見・提案書の市長への提出日時が、11月28日(水)の午後4時から(30分程度)と決まったので、ご都合のよい方は同席をお願いしたい。場所は本庁舎3階の応接室。</p>
<p>4 閉会</p>	
<p>副委員長</p>	<p>(閉会のあいさつ)</p>